

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	16100000	都市政策部 都市計画課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費
		目指す姿	04	都市計画費	01
中事業	08	主要な取り組み	K P I	-	目標値
小事業	11	都市計画事業	目標年度	令和6年度	-

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	今後、人口減少、少子高齢化社会の時代が予測されており、中心市街地郊外では住宅開発やスポンジ化が進展し、点在した公共施設の整備は非効率の点から行政サービスの低下につながる恐れがある。厳しい財政状況の中、公共施設の老朽化対策、整備は喫緊の課題である。そのため、公共施設をまとまって立地し、各地区を公共交通、ネットワークで結び、生活利便施設を都市機能誘導区域に集中させ、コンパクトなまちづくりを進める必要がある。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 市民、都市計画事業等の推進及び国補助事業の活用 (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 都市計画マスタープラン、立地適正化計画に基づきまちづくり将来像、土地利用に対する都市計画施設等の整備・開発、保全を推進する。 計画的で秩序ある土地利用を誘導する。 都市機能等を誘導区域内に誘導促進することにより持続可能な都市づくりを実現する。				
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画の決定及び変更 立地適正化計画推進・運用(改正都市再生特別措置法) 都市計画マスタープラン推進・運用 国土利用計画法に基づく届出・調査 地理情報システムの保守管理 長期間未着手となっている都市計画道路の見直し 社会資本整備総合交付金等の活用 都市計画事業の推進のために必要な情報収集 				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,671	6,652	48,339	10,955	
	決算額	6,717	1,417	46,600		
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	6,430 /			0	

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	都市再生整備計画(都市構造再編集中支援事業)計画事業申請・採択件数	目標値	3	3	6	6
		実績値	4	4	6	

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	美濃太田駅、古井駅周辺に生活利便施設があり、便利だと思う人の割合(%)	目標値	37.1	37.3	37.5	37.7
		実績値	37.1	35.8	65	

実 績	実績	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画事業の推進及び届出制度運用 都市構造再編集中支援事業の推進(国費活用) 都市計画マスタープラン、区域マスタープランの推進 都市計画基本図の作成及び3D都市モデルの整備 都市計画道路の変更(市決定:廃止5路線、変更2路線、新設1路線)、(県決定:名称変更2路線) 都市機能誘導区域内に都市公園の再整備、道路のバリアフリー、道路拡幅事業の実施。 都市計画審議会開催 2回
	効果	市民が公共交通により生活利便施設に容易にアクセスできるよう、定めた区域において効率的な土地利用(コンパクトシティ)を誘導している。そして、老朽化したインフラ、公共施設の維持、更新について、選択と集中の中、効率的に事業が推進できている。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	計画的に都市機能誘導区域や居住誘導区域内に、公共施設(保健センター、保育園、道路、都市公園)の整備が図られている。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	立地適正化計画に基づく都市機能及び住居の誘導促進が少しずつ進んできているため、美濃太田駅、古井駅周辺の都市機能誘導区域のまちづくりに対する満足度の割合が高い(市民満足度調査の結果)。
	実績からR05年度の事業の方向性	都市計画法に基づき5年に1回行う都市計画基礎調査の実施。都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、持続可能な都市づくりを推進する。現在実施中の都市構造再編集中支援事業を継続する。

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	16100000	都市政策部 都市計画課			
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業		K P I	-	目標値	-	
中事業	08	主要な取り組み							
小事業	34	景観保全事業	目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	美濃加茂市は貴重な資源となる自然、文化、歴史があり、これら資源と共生し美濃加茂市らしい景観を維持する必要がある。屋外広告物については、今のところ、老朽化等により公衆に危害を及ぼす事例はないが、問題が生じないよう、管理者に適正管理を促す必要がある。				
	事業目的	<p>(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 市全域・街の景観・風致向上</p> <p>(2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 景観計画、屋外広告物条例に基づき各地域の特性ある景観を保全するまちづくりを推進する。 保存樹の保全による緑化の推進、景観形成、自然保護等</p>				
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市の良好な景観を保全、また地域の特性にふさわしい景観を形成する。 景観計画、景観条例の運用、保存樹の保全、屋外広告物規制等の周知・啓発を行う。 景観保全団体との協働により景観形成を推進する。 				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	1,186	1,186	1,065	1,039	
	決算額	731	507	509		
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	980 / 0				

アウト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	屋外広告物違反等指導回数(新規・更新時)	目標値	5	5	10	10	10
		実績値	10	12	13		

アウト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	屋外広告物違反広告物の是正件数	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	5	9	6		

実 績	実績	景観条例・計画の適正運用 保存樹適正管理 屋外広告物規制の適正運用・啓発活動 1回
	効果	美濃加茂市景観計画に基づく、行為の制限の遵守、指導や屋外広告物においては無届掲出物や違法掲出物が発生しないよう、啓発活動を行い、適正な掲出、管理がされるよう推進する。その結果、良好な景観の維持につながるとともに、公衆に対しても危害を招く事故が抑制され、安全、安心なまちを目指すものである。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	無届設置看板や野立広告物の維持管理状況を把握し、設置者に適正管理するよう注意喚起することで意識を高めてもらえた。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	無届設置看板や野立広告物の維持管理状況を把握し、設置者に適正管理するよう注意喚起することで意識を高めてもらえた。
	実績からR05年度の事業の方向性	新規及び更新時の屋外広告物違反等の是正、指導回数を減少させるためには、未更新物件及び未申請物件の設置者に対して手続きの周知をしていくことで、適切に法手続きをおこなうよう指導を継続していく。

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	16100000	都市政策部 都市計画課				
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費	05	住宅費	01	住宅管理費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業		K P I	-	目標値	-	
中事業	08	主要な取り組み	目標年度	令和6年度					
小事業	35	住宅管理事務							

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	市営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で供給する住宅である。入居対象者は低額所得者であるが、家賃を滞納することがないよう、関係者には分納契約の締結、支払いの請求（面談、電話、文書送付）を行なう。入居者の家賃支払いに対して公平性が欠けることのないよう、事務処理をおこない、家賃収納率を向上させることが必要である。				
	事業目的	(1)対象（誰、何を対象にしていますか） 市営住宅の入居者 (2)目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 市営住宅使用料の滞納額の削減が図られる。				
	事業概要	・市営住宅に係る一般事務 ・市営住宅使用料の収納事務				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	436 402	431 174	431 337	328	
年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	1,956 / 0					

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06	
	現年度収納率	目標値	99	99	99	99	99
		実績値	98	98	99		

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06	
	全体収納率	目標値	99	99	99	99	99
		実績値	93	93	94		

実 績	実績	市営住宅入居戸数 206戸/257戸 家賃収納率 93.7%
	効果	収納された家賃を財源とし、損傷している市営住宅の修繕をおこなっている。施設の修繕をおこなうことによって、入居者に対して快適な住環境を提供することにつながる。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	現年度の家賃収納率は、一時的な家賃滞納者に対して、細目な家賃支払い請求を行うことで滞納額が膨らまないように啓発してきた。最近では生活困窮者の入居も多くなり、未達成となっている。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	過去から入居されている入居者についても、家賃の支払いが滞っている状態。現在は、現年分の家賃支払いを優先させているが、継続して過去年の家賃支払いの請求を行っていく。
	実績からR05年度の事業の方向性	家賃滞納者に対して、今後も督促、催告、面談、分納契約を行い、家賃支払い請求、家賃徴収事務を継続する。

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	16100000	都市政策部 都市計画課				
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費	05	住宅費	01	住宅管理費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業		K P I	-	目標値	-	
中事業	08	主要な取り組み	目標年度	令和6年度					
小事業	36	住宅保全管理							

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	各市営住宅は、築造して30年以上が経過しており、老朽化が進んでいる。そこで、長寿命化計画を平成29年に策定しているが、令和4年度には計画の見直しを行い、住宅の耐用年数まで活用できるよう予防保全を目的とした、長寿命化工事を実施する必要がある。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 市営住宅の入居者 (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 快適で安全な住宅環境を提供することができる。				
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の適正な維持管理 市営住宅退去後の改修工事 長寿命化計画による大規模改修 				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	77,272 76,274	92,604 92,324	97,341 85,773	90,224	
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	954 / 0					

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	住宅周知回数	目標値 2	2	2	2	2
	実績値	2	2	2		

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	住宅入居率	目標値 92	92	92	92	92
	実績値	83	83	78		

実 績	実績	入居者 4戸 ハイツ矢田C棟長寿命化改修工事 1棟 平塚住宅B棟改修工事 1棟
	効果	長寿命化工事の主な工種は、老朽化している外壁補修、屋根防水の補修、貯水槽の取換であり、これら工事は国庫補助金を充当しながら施工している。その結果、入居者に対して快適で安全な住宅環境を提供することができ、入居率の向上にも期待する。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	1年に2回(前期、後期)、市営住宅の入居募集をおこない、毎回、新たな入居者が応募している。生活困窮者への支援につながっている。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	高齢者の方の入居割合が高いことから、高層階の部屋の入居が少ないこと、各住宅の老朽化から、入居者数の増加まで至っていない。
	実績からR05年度の事業の方向性	老朽化した住宅について、順次、国庫補助金を充当しながら、長寿命化工事を実施していくことで、環境の良くなった住宅へ入居を促していく。また、市営住宅として利用が見込めないと予想される施設については、地域の方と共に、過去や今後の利用状況をみながら、定住促進住宅への移行等を検討していく

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	16100000	都市政策部 都市計画課			
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	07	土木費	05	住宅費	01	住宅管理費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-		目標値	-	
中事業	08	主要な取り組み							
小事業	37	定住促進住宅管理	目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	三和地区は人口減少が進んでおり、若い世代が少なくなっており、今後、地域のつながりや活力の低下が懸念されている。															
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 中学生以下の子がいる子育て世帯 (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 三和地区の人口減少を抑制することができる。															
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進住宅が快適で安心な生活を提供できるように維持管理する。 退去後の改修工事を実施して新規入居者を受け入れる。 															
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06											
	<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>1,134</td> <td>934</td> <td>934</td> <td>915</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>259</td> <td>793</td> <td>740</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	予算額	1,134	934	934	915		決算額	259	793	740						
予算額	1,134	934	934	915													
決算額	259	793	740														
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	161 / 0																

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	住宅募集案内回数	目標値	2	2	3	3	3
	実績値	2	2	3			

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	住宅入居率	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	83.3	100	67			

実 績	実績	定住促進住宅全入居者 6世帯 入居条件として、中学生以下の子がいる世帯としていることから、中学校を卒業する等のタイミングでR5・3月末状況で入居者数6世帯/9世帯。随時HPで入居募集を行っている。 住宅の損傷箇所(修繕、周辺の環境整備(樹木伐採等))を実施。
	効果	三和地区の人口減少対策として、子育て世帯を対象に定住促進住宅への入居を促進するため、令和4年度に対象戸数を6戸から9戸に条例改正をおこない、持続的で魅力あふれる、まちの活性化を図る。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	空き室が発生した都度、速やかに損傷箇所を修繕し、入居募集を行ない、入居率100%を目指す。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	入居条件として、対象を子育て(中学生以下の子)世帯としていことから、中学校を卒業する等のタイミングと重なり、R5・3月末状況で入居者数6世帯/9世帯となっている。
	実績からR05年度の事業の方向性	空き室が発生した場合は、老朽箇所、損傷箇所を予算の範囲内で修繕するとともに、併せて随時、募集し、入居率100%を目指す。 HPに載せる入居者募集案内のチラシを更新し、定住促進住宅に住む魅力を発信していく。